

香川県立三豊中学校校歌

堀沢 周安 作詞
若狭萬次郎 作曲

一、長瀾寄する燧灘

彩雲なびく巨鼈山

海山遠く見渡して

聳え立ちたり我が校舎

三豊の平野草も木も

直なる中に頭れて

己が力を伸ばし行く

若き益荒雄茲にあり

二、財田川のさざざと

流るる水を顧みて

吾等も絶えず体を鍛へ

いよよ磨かん智を徳を

松風清き琴弾の

神の御前に額づけば

木の間の月は進むべき

道を照らして光あり

香川県立三豊高等女学校校歌

器にはしたがひながら巖をも

とほすは水のちからなりけり

この秋は嵐か雨かしらねども

けふのつとめに田草とるなり

敷島の大和錦に織りてこそ

からくれなるの色もはえあれ

香川県立観音寺第一高等学校校歌

脇 太一 作詞
服部 正 作曲

一、青雲匂ひ 陽に映ゆる

さぬき山脈 仰ぎつつ

叡智のひとみ さわやかに

憧がれ強く 羽ばたきて

集へり生命 若きもの

我等に燃ゆる 希望あり

三、財田の流れ 澄むほとり

文化豊かに 啓きつつ

真理をもとめ 澁刺と

理想に挙る 眉あげて

高邁自主の 道を往く

我らに重き 使命あり

二、大瀬戸清き 新潮に

若き日の幸 歌ひつつ

智徳をみがき 身をきたへ

誠は篤き 友愛に

伝統花と 咲きかほる

我らに高き 矜恃あり